

——平成 26 年度会費お払込みのお願い——

平成 26 年度（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを 12 月初旬にお願いしましたが、1 月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、メールにてご案内申し上げますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 26 年 4 月末にお送りする予定です。

——転勤・引越し及び

——学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。

毎月 1 日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいませようお願い致します。

また、4 月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Web サイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail : kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——平成 26 年度電子情報通信学会

——技術研究報告予約募集案内について——

平成 26 年 4 月から 27 年 3 月までの 1 か年分の技術研究報告の予約を募集致します。一旦御予約頂きますと、中止のお申し出がない限り次年度以降自動的に継続されます。平成 26 年 4 月より新規に予約を希望される方は、下記 URL からお申込み下さい。

平成 26 年度より「高信頼制御通信（RCC）」研究会と「バイオメトリクス（BioX）」研究会、「ヘルスケア・医療情報通信（MICT）」研究会、「無線電力伝送（WPT）」研究会が新設されます。また、「ソフトウェア無線（SR）」研究会が「スマート無線（SR）」研究会に名称変更します。

なお、平成 25 年度中に既に予約されている場合は、別途変更通知書をお送りしておりますので、新規としての手続きはされませぬようお願い致します。

<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuuhokoku.html>

本会では、1999 年 8 月から論文誌の電子的公開を開始し、2006 年 4 月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、2009 年 4 月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開始してまいりました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム（IEICE Knowledge Discovery（略称：I-Scover））などの新たなシステムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところです。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を 2014 年 4 月号から廃止することが 2013 年 4 月 15 日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオンライン版の御活用をお願い致します。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしくお願い申し上げます。なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——早期公開開始（情報・システム

——ソサイエティ論文誌）について——

情報・システムソサイエティ和英論文誌編集委員会では、会員への迅速な情報提供、著者の利便性の向上の一環として、2014 年 4 月 1 日以降に和文論文誌 D 分冊（JD）に投稿受付された論文、及び、2014 年 5 月 1 日（予定）以降に英文論文誌 D 分冊（ED）に投稿受付された論文に対して早期公開（編集前の採録原稿を公開）を開始致します。これに伴い、採録論文の公開日は、早期公開日（採録通知後 7 営業日以内）となりますので御注意下さい。詳細に関しては、投稿のしおり（和文：http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html、英文：http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html）を御参照下さい。

——平成 26 年 3 月号及び 4 月号

——和・英論文誌特集・小特集テーマ——

——和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

3 月号 [英文] Analog Circuit Techniques and Related Topics

4 月号 [和文] 音響学の発展を支える信号処理技術小特集（通信ソサイエティ）

3 月号 [和文] 光応用電磁界計測技術の最新動向

3 月号 [英文] Information and Communication Technology for Medical and Healthcare Applications in Conjunction with Main Topics of ISMICT2013

（エレクトロニクスソサイエティ）

3 月号 [英文] Leading-Edge Technology of Superconductor Large-Scale Integrated Circuits

(情報・システムサイエティ)

3月号 [和文] 学生論文特集

3月号 [英文] Foundations of Computer Science—New Trends
in Algorithms and Theory of Computation—

4月号 [英文] Data Engineering and Information Management

——「産・官・学共同研究」募集のお知らせ——

下記機関では「共同研究、受託研究」のテーマ等を、広く社会から募集しています。

関心をお持ちの方は記載の URL にて詳細を御確認下さい。
(大学等にて募集案内の掲載を希望される場合は、事務局会員サービス部 (service@ieice.org) まで原稿をお送り下さい)

・機関名：産業連携への窓 (全国版)

URL : <http://zeus.crc.uec.ac.jp/model/>

(国立大学 56 校の共同研究センターの情報を掲載)

・機関名：早稲田大学理工学総合研究センター

URL : <http://www.rise.waseda.ac.jp/>

・機関名：中央大学理工学研究所

URL : <http://www.ise.chuo-u.ac.jp/TISE/index-j.htm>

・機関名：立命館大学産官学交流事業推進室 BKC リエゾンオフィス

URL : <http://www.ritsumei.ac.jp/jimu/bkc-liaison/index.html>

・機関名：明治大学知的資産センター

URL : <http://www.meiji.ac.jp/jigyoka/tloindex.htm>

・機関名：東京電機大学産官学交流センター

URL : <http://www.dendai.ac.jp/crc/>

・機関名：関西大学先端科学技術推進機構

URL : <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/>

・機関名：愛知工業大学総合技術研究所

URL : <http://aitech.ac.jp/res/>

・機関名：東京大学国際・産業共同研究センター

URL : <http://www-db.ccr.u-tokyo.ac.jp>

・機関名：東京大学空間情報科学研究センター

URL : http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/research_activities/joint-research.html

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

◇東海支部

●平成 25 年度専門講習会「センサネットワークの現状と将来動向について」

期 日 平成 26 年 3 月 7 日 (金)

会 場 名鉄ニューグランドホテル

◇関西支部

●電気三学会関西支部「平成 26 年度合同報告会・講演会」

期 日 平成 26 年 4 月 18 日 (金)

会 場 中央電気倶楽部

電子情報通信レクチャーシリーズ 新刊 会員特価販売のご案内

<第30回配本>

A-1 電子情報通信と産業

電子情報通信学会 編/西村吉雄 著

(株)コロナ社 発行

B5判/272頁/定価 4,935円/会員特価 4,500円(税・送料込)

※2014年4月以降、消費税率変更のため、販売価格の変更がございます。

電子情報通信分野の産業活動を歴史的に展望。半導体集積回路とプログラム内蔵方式コンピュータが歴史記述の基軸である。その歴史記述の中で、近年の日本における電子情報通信産業衰退の原因は何かを明らかにすることを試みる。

<主要目次>

本書の構成と執筆方針/第I部 20世紀前半まで/第II部 半導体のたどった道/第III部 情報処理と通信の融合/第IV部 インターネットをインフラとする産業と社会/第V部 第2次世界大戦後の日本に固有の問題

◆申込方法◆ ご氏名、送付先の会社名、学校名、ご住所、電話番号を明記の上、FAX または e-mail(書式自由、会員特価販売分と記入)にて、直接コロナ社にお申込み下さい。

◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10
(株)コロナ社内「電子情報通信レクチャーシリーズ」係
TEL 03-3941-3131(代) FAX 03-3941-3137 e-mail: gyomu@coronasha.co.jp